

本校の地域連携・地域交流

富士吉田市立下吉田中学校

共に学び支えあう教育

～高校生ボランティアによる学習支援活動～ 近隣高等学校との連携

1 目的と経緯

- ・中学生の学習に対する意欲・関心を高める。
- ・年齢の近い高校生による学習支援を受けることにより、学ぶ楽しさを深める。
- ・高校での学習と生活について意識し、進路や自己の生き方を考える機会とする。
- ・地域貢献（ボランティア）活動やインターンの一環として実施し、高校生の人生設計の一助とする。
- ・新型コロナウイルス感染症により中断したが、令和4年度より交流を再開している。

2 内容 ※令和6年度の取組について

- ・2月下旬に実施する学年末試験に向けた学習会に、高校生がボランティアとして参加し、1年生と2年生に対し学習支援を行った。
- ・高校側と日程調整を行い、予め高校生が来校する日を生徒に通知した。
- ・令和6年度は、2月18日・19日の2日間で実施した。
- ・生徒が疑問に思ったことを質問し、高校生がアドバイスする形式をとった。
- ・主に、教育系への進学を考え、かつ進路が決定している高校3年生が参加。
- ・ボランティアの人選は高校が行い、本校出身ではない高校生が参加することもある。
- ・令和6年度は、8名程度の高校生が参加し、2つの学年に分かれて中学生を支援した。
- ・支援の方法や割り振りは、学年の教員が生徒の実態や要望に応じて決定する。
- ・高校生と事前にボランティアとしての「心得」を共有した。

（例） 服装や言動にはよく注意し、規律・節度を守る

校内の秘密に関する事項を、外部に漏らさないように十分留意する

3 成果と課題

- ・年齢が近いため、多くの質問が出され、双方にとって価値のある関わりができた。
- ・試験前という時期もあり、今年度も多くの生徒が参加した。
- ・中学生にとっては、数年後の姿をイメージすることにつながり、良い刺激となった。
- ・限られた時間であるため、全員を支援するには至らなかった。
- ・事前調整等、準備にかかる負担が大きいため、持続可能な取組のあり方を検討する必要がある。